

作成日 : 2016 年 6 月 1 日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : カウンター乳剤  
 販売会社名 : OATアグリオ株式会社  
 住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階  
 担当部署 : 品質保証室  
 電話 : 088(684)0220  
 FAX : 088(686)7055  
 緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0251(本社)  
 整理番号(SDS No.) : OAT0304-1  
 奨励用途及び使用上の制限 : 農薬(殺虫剤)登録以外の使用は不可

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

##### 物理的及び化学的危険性

自然発火性液体 : 区分外  
 水反応可燃性化学品 : 区分外

##### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外  
 急性毒性(経皮) : 区分外  
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分外  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分 1  
 皮膚感作性 : 区分 1  
 生殖細胞変異原性 : 区分 2  
 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分 2(腎臓、肺)  
 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分 2(腎臓、血液、肺、皮膚)

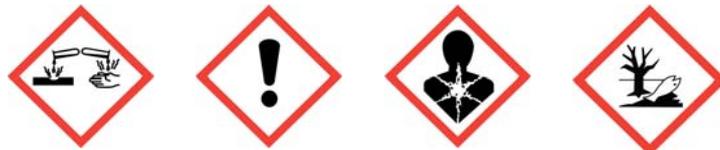
##### 環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 区分 1

\* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHS ラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 : 重篤な眼の損傷  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 遺伝性疾患のおそれの疑い  
 腎臓、肺の障害のおそれ  
 長期にわたる、または、反復暴露により腎臓、血液、肺、皮膚の障害のおそれ  
 水生生物に非常に強い毒性

#### 注意書き

##### 【予防策】

保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 保護手袋を着用すること。  
 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気を吸入しないこと。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 使用前に取扱説明書を手入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 指定された個人用保護具を使用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。  
 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 必要な時以外は環境への放出を避けること。

【対応】

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 直ちに医師に連絡すること。  
 皮膚についた場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断、手当を受けること。  
 暴露した時、または気分が悪いときは、医師に連絡すること。  
 漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を法、条例に従って安全に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候

想定される非常事態の概要

国/地域情報

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

| 成分名   | 含有量(%) | CAS No.                   | 化審法番号    | 安衛法番号      |
|---|--------|---------------------------|----------|------------|
| (RS)-1-[3-クロロ-4-(1,1,2-トリフルオロ-2-トリフルオロメトキシエトキシ)フェニル]-3-(2,6-ジフルオロベンゾイル)ウレア<br>(一般名: ノバルロン)<br>(化学特性: C <sub>17</sub> H <sub>9</sub> ClF <sub>8</sub> N <sub>2</sub> O <sub>4</sub> (分子量 492.7)) | 8.5    | 116714-46-6               | -        | 4-(13)-223 |
| 有機溶剤、界面活性剤等   | 91.5   | -                         | -        | -          |
| 鉱油  | 3.0    | 72623-86-0,<br>72623-87-1 | (9)-1692 | 既存物質       |

4. 救急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。体を毛布などで覆い、保温して安静を保ち、医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに、皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。衣服類の上から汚染した場合は、汚染された衣類をすべて脱ぐこと(汚染された衣服類は他の物と区別してよく洗うこと)。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗浄する。吐かせないで、できるだけ早く医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤など

使ってはならない消火剤

水

火災時の特定の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素、塩化水素、窒素酸化物等が含まれる。

特定の消火方法

濃厚な廃液が河川などに流入しないように充分注意する。

消火を行う者の保護

保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出液の処理作業には防毒マスク、ゴム手袋等適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

汚染部は大量の水と中性洗剤を用いて洗浄する。洗浄の際、濃厚な廃液が河川などへ流入しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

土砂などを用いて漏出液の流れを止め、空容器に回収する。

二次災害の防止策

付近の着火元・発火元を除去する。

風下の人を避難させ、漏出場所への人の出入りを禁止する。

7. 取扱いおよび管理上の注意

取扱い

技術的対策

火花を発生する機械器具などは使用しない。

局所排気・全体換気

注意事項

危険物(第4類・第3石油類、非水溶性液体(2000L))の取扱いを行う。

容器の破損や容器からの漏洩を防ぎ、液体や気体の流出に注意する。

安全取扱い注意事項

吸い込んだり皮膚や眼に触れないよう、不浸透性の作業衣、ゴム手袋、防毒マスク、ゴーグル型保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業する。

保管

技術的対策

危険物(第4類・第3石油類、非水溶性液体(2000L))の管理を行う。

適切な保管条件

適当な換気のある乾燥した冷暗所に密封して保管する。気体が滞留する恐れのある場所では、火花を発生する機械器具などは使用しない。また、静電気が発生あるいは帯電しないように注意する。

安全な容器包装材料

注)詳細は製品のラベルに従うこと。

8. 暴露防止措置

設備対策

換気を適正に行う。

許容濃度

日本産業衛生学会 設定されていない

ACGIH 鉱油: TWA 5 mg/m<sup>3</sup>(鉱油ミストとして)(2006年)

STEL 10 mg/m<sup>3</sup>(鉱油ミストとして)(2006年)

保護具

呼吸器用保護具 : 防毒マスク

手の保護具 : ゴム手袋

眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性作業衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 黄色澄明油状液体

臭い

pH : 5.3

融点/凝固点 : データなし

沸点/初留点・沸騰範囲 : データなし

引火点 : 104.8°C

|              |              |
|--------------|--------------|
| 発火点          | : データなし      |
| 燃焼又は爆発範囲     | : データなし      |
| 蒸気圧          | : データなし      |
| 比重           | : 1.07(25°C) |
| 溶解性          | : データなし      |
| オクタノール/水分配係数 | : データなし      |
| 分解温度         | : データなし      |

#### 10. 安定性及び反応性

##### 安定性

通常の状態では安定

##### 反応性

##### 危険有害な分解生成物

燃焼ガスには、一酸化炭素、塩化水素、窒素酸化物等が含まれる。

#### 11. 有害性情報

##### 急性毒性

経口 LD<sub>50</sub> 値 : >2500 mg/kg(♂♀ラット)

経皮 LD<sub>50</sub> 値 : >4000 mg/kg(♂♀ラット)

吸入 LC<sub>50</sub> 値 : データなし

##### 皮膚腐食性/刺激性

刺激性あり(GHS 分類基準以下の変化が認められたのみであることから区分外とした)

##### 眼に対する重篤な損傷/刺激性

重度刺激性(ウサギを用いた動物実験において、21 日間で完全には回復しない作用が認められたことから区分 1 とした)

750 倍希釈液は刺激性なし

##### 皮膚感作性

陽性(モルモットを用いた動物実験で陽性が認められたことから、区分 1 に分類した)

##### 生殖細胞変異原性

データなし(区分 2 の鉱油を 1.0% 以上含有することから、区分 2 とした)

##### 発がん性

データなし(データ不足により分類できないとした)

##### 生殖毒性

データなし(データ不足により分類できないとした)

##### 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

データなし(区分 2 の物質を 10% 以上含有することから区分 2 とした)

##### 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

データなし(区分 1 の鉱油を 1.0% 以上 10% 未満、区分 2 の物質を 10% 以上含有することから区分 2 とした)

##### 吸引性呼吸器有害性

データなし(区分 1 の鉱油を 3.0% 含有するが、分類基準未満であることから分類できないとした)

#### 12. 環境影響情報

##### 移動性

データなし

##### 生体蓄積性

データなし

##### 生態毒性

魚毒性: LC<sub>50</sub>(96 時間) : 4.01 mg/L(コイ)

その他: EC<sub>50</sub>(48 時間) : 3.40 × 10<sup>-3</sup> mg/L(オオミジンコ)

EbC<sub>50</sub>(72 時間) : 2.29 mg/L(藻類)

以上の結果から、水生環境有害性(急性)を区分 1 とした。また、データがないことから水生環境有害性(慢性)を分類できないとした。

#### 13. 廃棄上の注意

##### 廃棄方法

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に依頼して適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類(ノバルロン原体) 国連番号(UN No.) :3077  
 WHO の分類で Environmentally hazardous substance, solid, N.O.S. の化合物。

国内規制

危険物、劇物の取り扱い及び管理を行う。

輸送の特定の安全対策及び条件

引火性液体(危険物第4類・第3類石油類、非水溶性液体(2000L))であるので「火気厳禁」。

追加の規制

輸送の特定の安全対策及び条件: 容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

15. 適用法令

農薬取締法

登録番号 第 21303 号(登録:株式会社エス・ディー・エス バイオテック)

消防法

引火性液体:危険物 第4類 第3石油類 非水溶性

化学物質管理促進法(PRTR)

第2種指定化学物質(法第2条第3項、施行令第2条別表第2)

17 ノバルロン

労働安全衛生法

名称などを表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9):168 鉱油

名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9):168 鉱油

16. その他の情報

参考文献

カウンター乳剤の SDS(株式会社エス・ディー・エス バイオテック、2010年)

連絡先

製品に関する問い合わせ先:コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先:公益財団法人 日本中毒情報センター

| 中毒 110 番              | 一般市民専用電話<br>(情報提供料:無料) | 医療機関専用有料電話<br>(情報提供料:1件 2000円) |
|-----------------------|------------------------|--------------------------------|
| 大阪<br>(365日、24時間対応)   | 072-727-2499           | 072-726-9923                   |
| つくば<br>(365日、9~21時対応) | 029-852-9999           | 029-851-9999                   |

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従いまして、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いいたします。